

火災・事故防止に資する防災情報提供シート

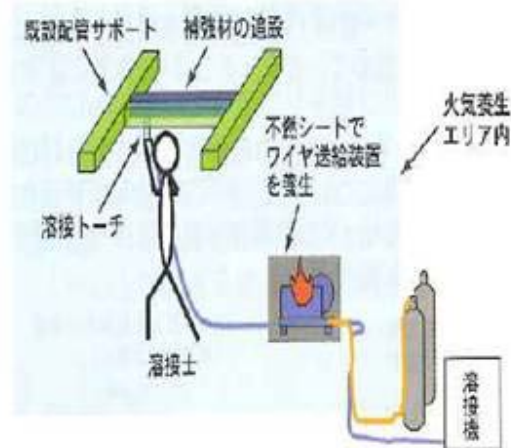
防災情報の種類：火災、爆発、漏洩、その他 No. 010009030

件名：溶接ワイヤ送給装置の火災

【事象概要】

火気養生エリア（不燃シートでハウス養生）内で、溶接作業で使用していた溶接のワイヤ送給装置から端子の一部が接触不良、又はトラッキング現象により発火・発煙したもの。

また、本火災の初期消火活動者は、工事関係者が電話しているのを見て、中央捜査室に電話していると思い込み、中央操作室への火災発生の連絡をせず、消防への通報が約1時間遅延した。



【事象の原因】

1. ワイヤ送給装置の点検不足
2. 通報連絡の確認不足
3. 中央操作室に「煙を吸った作業員の気分不快」については、連絡したが、「煙」の言葉から火災を連想できず、火災の発生に気付かなかった。

【再発防止対策】

1. ワイヤ送給装置の付属機器を含めて電気溶接機等の発電所持込み前点検及び定期的に本格点検を行い記録するとともに、使用前に日常点検を実施し記録。
2. 電気溶接機の使用前に、溶接機及び付属機器の端子台接続部に緩みがないこと、端子間に埃等がないことを確認。
3. 作業班長は、火災等事故災害の確認またはその報告を受けた後。第一報を中央操作室へ連絡していること及びその連絡内容の確認。
4. 火気作業のツールボックスミーティング・危険予知（TBM-KY）では、火災等事故災害の発見者が第一報を中央操作室に連絡し、作業班長に報告すること及び声だし（火災発生、通報状況）等を徹底。
5. 煙のキーワードを含む連絡を受けた場合、火災の可能性を考え関係箇所に問いかけをし、火災の可能性が否定できない場合は、現場確認を行うなど感度を高めた対応を実施する